

地对協コーナー

新年、明けましておめでとうございます。本年も宜しく申し上げます。

旧年は、第7次広島県保健医療計画をはじめ、各種の計画の改定に向け、県地对協内に設置の各委員会でも、さまざまな議論がなされました。

今後は、パブリックコメントなどを踏まえ、広島県医療審議会での審議を経て、正式に策定されます。

平成30年度は、地域医療構想の理念のもと、これらの計画のスタート、さらに介護保険の地域支援事業に位置づけられた「在宅医療・介護連携推進事業」の実施、国民健康保険の都道府県移管など、重要な年です。

一人ひとりが力を出すことで、やがては大きな力となりますので、われわれもできることを日々対応していきたいと思えます。

今号は11月に開催された委員会要旨をお届けします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地对協ホームページ(<http://www.citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○第2回ACP普及促進WG

日時：平成29年11月1日(水) 19時00分

場所：広島県医師会館3階 302会議室

WG長：本家 好文

広島県版「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」の普及啓発に向け、広島県医師会A会員を対象に実施した意識調査の結果を報告後、今後の普及促進に向けた方策について協議した。また、第7次広島県保健医療計画・第7期ひろしま高齢者プランについても検討した。

報告・協議事項

(1) ACPに関する調査 集計結果について

ACPのさらなる普及を目指すため、現時点で医師へのACP普及状況確認とACPの周知を目的として、広島県医師会A会員を対象に実施した意識調査結果(回収率30.1%)を報告した。ACPの認知度として、約40%が知っている、約30%が知らないとの回答であったが、患者が「私の心づもり」を持参した時に一緒に考えることができるとの回答は80%以上を占めた。さらにACPを実践してみたい、ACPの講演や研修も参加したいとの回答も50%以上を占めていたことから、ACP実施に係る意欲は高いことが判明した。一方で実践していない理由として、時間の不足、知識・経験不足、ニーズの問題が挙げられた。

(2) ACPの普及促進について

広島県地域包括ケア・高齢者支援課から、今後のACPの普及促進に向けた事業提案とスケ

ジュール案が示され、実践に向け検討した。WGとしては、患者や家族・関係者に対して、ACPを簡潔に説明できる資料やツールの作成にとりかかることとした。

また、医師を含む医療・介護従事者や住民に対して普及啓発を担う「普及促進員」の養成や、効果的な広報の検討、ACPの法的な位置づけを理解・整理するための法務研修の実施などにも取り組むことを確認した。

○第3回在宅医療・介護連携推進専門委員会

日時：平成29年11月8日(水) 19時30分

場所：広島県医師会館2階 201会議室

委員長：檜谷 義美

在宅医療に求められる医療機能および医療機能調査票やACPの普及促進に向けた各関係会議の検討状況を共有した。また、第7次広島県保健医療計画及び第7期ひろしま高齢者プランに係る目標値や素案について意見交換した。

報告・協議事項

(1) 在宅医療に求められる医療機能および医療機能調査票について

実務者会議を開催し、在宅医療に求められる医療機能の項目や調査票について検討した旨報告した。委員からは、「在宅看取りの支援」の定義に関する意見などがあったが、最終的には原案どおり承認した。

(2) ACP普及促進WGの検討状況について

※検討状況の内容については、11月1日(水)ACP普及促進WG報告同様のため割愛させていただきます。

(3) 第7次広島県保健医療計画及び第7期ひろしま高齢者プランに係る目標値などについて

国の指針や本県の現状を踏まえ、目標値の考え方や計画素案が示された。

委員からは、目標値の設定にあたり、人口動態の地域差を踏まえた対応を求める意見、在宅医療の推進に向けた環境整備や関係者のさらなる理解を求める意見、家族の介護力の減少を踏まえた地域包括ケアシステムの深化を求める意見などがあつた。

○放射線治療連携推進WG

日 時：平成29年11月15日(水) 18時45分

場 所：広島県医師会館3階 302会議室

WG長：永田 靖

放射線治療に関する実態調査の結果を踏まえ、今後の運営や人材の育成方策について協議した。また、2月に開催予定の県民公開講座や広島がん高精度放射線治療センターの治療実績、患者の紹介状況などの報告があつた。

報告・協議事項

(1) 放射線治療のあり方検討にかかる実態調査について

県内の放射線治療施設を対象に実施した「放射線治療体制のあり方に係る実態調査」の結果について報告があつた。

2016年の放射線治療部門の新規患者数が5,000人を超え、「脳・脊髄」を除くすべての部位が前年度から件数を伸ばしていた。放射線治療提供体制については、医師数はほぼ横ばいの状況だが、診療放射線技師数、医学物理士数は増加、放射線治療担当看護師の専任度も伸びていることから、放射線治療提供体制は充実の方向に向かっている。

(2) 広島がん高精度放射線治療センターについて

平成27年10月1日の開設から今日までの取り組みと今後の課題、HIPRAC運営協議会の技術支援WGなどの状況報告があつた。精度管理、人材育成の面でもHIPRACに主導的な働きを期待する意見があつた。

○第3回脳卒中医療体制検討特別委員会

日 時：平成29年11月15日(水) 19時45分

場 所：広島県医師会館3階 303会議室

委員長：栗栖 薫

第7次広島県保健医療計画案（脳卒中医療体制）の骨子案について説明後、国の指針を踏まえ作成した医療機能調査（調査票案）について協議した。調査票には、本県独自の項目として、県内共通版地域連携クリティカルパスの利用状況などを設けることとした。

報告・協議事項

(1) 脳卒中医療 第7次広島県保健医療計画案について

これまでの意見などを反映した第7次広島県保健医療計画案が示された。

脳卒中医療を含む次期保健医療計画の策定について、改めて、国の示す指針を踏まえて行う必要があることや、計画期間は平成35年度を見据えて策定すること、住民の健康状態や患者の状態に対してどれだけの影響を与えたかという観点で施策の評価を行うことを確認した。

国が示す指標に基づくアウトカム指標、プロセス指標などが示されたが、「発症1年後におけるADLの状況」については採用を見送り、特定健診の受診率を追加することとした。最後に医療圏ごとに策定中の医療計画とも、目標や施策の方向性について整合性を図った上で計画の策定を進めていく方針を確認した。

(2) 脳卒中に係る医療機能調査について

国の指針を踏まえ作成した標記調査票案について協議し、当県独自の項目として、県内共通版地域連携クリティカルパスの利用状況や突然の症状出現時の画像診断による対応に関する質問を設けることとした。

○第3回精神疾患専門委員会

日 時：平成29年11月20日(月) 19時00分

場 所：広島県医師会館4階 401会議室

委員長：山脇 成人

第6次広島県保健医療計画が今年度で終了するため、次期計画（平成30年～35年度）に向けた目標値の設定や保健医療提供体制の構築に向けた医療機能の明確化、骨子・素案について協議した。

報告・協議事項

(1) 精神病床に係る基準病床数について

第7次保健医療計画では、新たな算定式の見直しとして、(平成32年度末の入院需要(患者数)+流入入院患者-流出入院患者)÷病床利用率で算出した2案を事務局案として示した。

(2) 第7次広島県保健医療計画(精神疾患対策)に係る目標値について

広島県独自の目標値として、「自殺死亡率」「発達障害の診療を行う医師数」などを含む、目標値(案)が示された。本日の意見を踏まえ、最終的な目標値の決定は委員長一任となった。

(3) 多様な精神疾患に対応できる医療連携体制の構築に向けた医療機能の明確化について

広島県健康対策課より、統合失調症、うつ病、認知症、児童・思春期精神疾患、依存症、PTSD、摂食障害、災害精神医療などの多様な精神疾患ごとに医療機関の役割分担を整理し、相互の連携を推進するため関係機関に実施したアンケート結果を踏まえ、広島県連携拠点機能及び地域連携拠点機能病院の配置案について情報提供があった。

(4) 保健医療計画(精神疾患対策)の骨子・素案について

広島県健康対策課より、骨子は、前回からの変更点として、課題の多様な精神疾患ごとの医療として、認知症の発症予防の追加とアンケート結果を踏まえ地域移行に関する目標の数値を記載した。また、素案も骨子と連動させてとりまとめた旨説明があった。委員からは、県民向けに公表する際、表現などの工夫を求める意見があった。

○第2回小児医療体制検討特別委員会

日時：平成29年11月21日(火) 19時30分
場所：広島県医師会館3階 301会議室
委員長：小林 正夫

「第7次広島県保健医療計画」の策定に向け、小児医療について協議・検討した。計画案は原案どおり承認され、今後は、県全体の保健医療計画との関係も踏まえ、記載方法など微調整が必要となった場合には、委員長へ一任することとした。また、県内の小児医療体制について意見交換した。

報告・協議事項

(1) 第7次広島県保健医療計画「小児医療の体制」の策定について

広島県医療介護人材課より、前回委員会での意見を踏まえた、第7次広島県保健医療計画「小児医療の体制」の策定(案)と小児医療に係る機能確認シートについて説明があった。

委員からは、365日24時間体制で受け入れる「小児救急医療拠点病院」の表記について、小児人口千人あたり医師数を全国平均まで増加させるための具体策、医療的ケアを必要とする患者の生活支援のため多職種連携を求める意見などがあった。

(2) 広島県内の小児医療体制について

一次二次救急、いずれも患者数が減少傾向にあるため、今後の病床の維持について思案していること、広島市重症心身障害児者相談支援センター事業の紹介(重症心身障害児者及びその家族を対象)、女性医師の支援を含めた医師の勤務環境の整備、救急医療を含めた病院間、あるいは近隣圏域、近隣市町との連携の方策、将来を見据えた施設整備や人員の増強、小児の心疾患体制の充実を求める意見などがあった。

また、障害者施策として施設間の連携、行政単位で意見交換する場がないといった意見もあった。

(3) 平成29年度災害時小児周産期リエゾン研修事業について

平成29年12月16日(土)、大阪医療センターにて開催の標記研修へ、広島県より3名の医師らが参加する旨説明があった。本研修は、災害時の小児・周産期医療体制の支援及び搬送等に必要な知識及び技能等の向上を目的とする。

○第3回救急医療体制検討特別委員会

日時：平成29年11月21日(火) 19時30分
場所：広島県医師会館2階 201会議室
委員長：志馬 伸朗

第7次広島県保健医療計画(救急医療)の策定に向け、これまでの意見を踏まえ整理された計画案を共有し、計画に記載する文言や指標について協議した。

報告・協議事項

(1) 第7次広島県保健医療計画「救急医療」の案について

広島県医療介護計画課より、これまでの会議資料や救急医療の現況を示す現場のデータ、救

急医療に係る県内各地域の次期計画案などが示された後、次期計画案について説明した。

委員からは、三次救急医療機関の支援・充実に向け、広島県へ明確なビジョンの明示や踏み込んだ施策の検討を求める意見があった。

受入困難事案の発生防止については、消防、医療機関の協力なくして成立しないため、関係機関との連携強化について記載を求める意見、初期治療の向上策の一環として、医学教育に盛り込むよう国への要望があった。

また、各地域における次期保健医療計画の策定にあたり、市郡地区医師会との協議がないまま案が策定され、計画内容が現実と乖離しているケースがあるため、今一度関係者との協議を徹底するよう呼びかけを求める意見もあった。

(2) その他

広島県医療介護計画課より、救急車利用全体に占める転院搬送の割合が全国平均を上回る状況であるため、救急医療体制確保の観点から、医療機関により一層の救急車適正利用を求めるとともに、広島県MC協議会 救急搬送・医療提供体制検討部会において、本県の転院搬送の状況を把握するために実態調査を行うことが報告された。

対象となる転院搬送の定義について質問があり、広島県は、入院患者・外来患者の区別をせず、いわゆる上り搬送・下り搬送に関わらず、すべての転院搬送が対象となると回答した。

○第2回糖尿病対策専門委員会

日時：平成29年11月27日(月) 19時00分
場所：広島県医師会館4階 401会議室
委員長：米田 真康

第7次広島県保健医療計画（糖尿病対策）の策定に向け、現状と課題、施策の方向を確認し、糖尿病医療機能調査の結果をもとに医療連携体制について協議した。

報告・協議事項

(1) 第7次広島県保健医療計画「糖尿病対策」の素案について

次期計画案では、①健診及びフォローアップ体制の充実、②重症化予防の取り組みの推進、③医療提供体制の構築が課題として挙げられ、課題解決に向けた施策の方向性として、「健康サポート薬局」の活用や糖尿病に関する専門的な療養指導を行うことができる専門職の育成などが示された。特段の反対意見もなく、原案どお

り承認された。

(2) 糖尿病医療連携体制の構築について

糖尿病の医療連携体制の構築に向け、二次医療圏の設定、拠点病院・中核病院の設置、初期・安定期医療を担う「かかりつけ医」の役割について協議した。広島市を除く各医療機関から提出された糖尿病医療機能調査の結果などを踏まえ、二次医療圏については、現行の医療圏とすることを確認した。また、拠点・中核病院の設置については、広島、尾三、福山・府中圏域を除く4圏域について選定した。

(3) その他

医科歯科連携については県内全ての歯科医院が協力すること、広島県栄養士会が運営している派遣栄養士（栄養ケア・ステーション）を参考に県内で均一の医療の提供を目指し、それぞれの症状に合わせて医療スタッフの派遣をしてはどうかとの意見があった。

○第3回災害医療体制検討特別委員会

日時：平成29年11月29日(水) 19時30分
場所：広島県医師会館3階 301会議室
委員長：山野上 敬夫

第7次広島県保健医療計画（災害医療）の策定に向け、これまでの意見を踏まえ整理された計画案を共有し、計画に記載する文言や指標について協議した。また、今年度実施した集団災害医療救護訓練やMCLS-CBRNEコースについても報告した。

報告・協議事項

(1) 平成29年度集団災害医療救護訓練の報告

広島県医師会より、平成29年10月28日(土)、三原市の興生総合病院の協力を得て実施した旨報告した。今年度の訓練は、多重衝突事故による多数傷病者への対応として、電力を含む病院機能は健在の想定とし、紙カルテ（災害用）のほか院内電子カルテも活用しながら対応したことが特徴的な訓練であった。

(2) MCLS-CBRNEコースの報告

広島県医師会より、平成29年10月8日(日)、広島県医師会館にて標記コースを開催した旨報告した。同コースは、化学、生物、放射線、爆発物等による特殊災害（CBRNE災害）では、通常の大規模交通災害による多数傷病者事案や地震などの自然災害とは異なる対応が求められるため、こうした特殊災害に対応可能な人材育成に努めるべく、昨年に引き続き開催した。

(3) 第7次広島県保健医療計画「小児医療の体制」の策定について

広島県医療介護計画課より、これまでの会議意見に基づく計画案の修正点が示された他、広島県健康対策課から、災害派遣精神医療チーム(DPAT)や災害時における精神科病院の体制強化など、他専門領域との調整を経て新たに追記予定の文言が説明された後、計画案の内容や指標について協議した。

オブザーバ参加の広島JRATからは、災害医療体制の図へJRAT活動について追加を求める意見があった。また、災害医療のイメージ図について、指揮命令や責任の明確化を求める意見もあったが、広島県からは、今後マニュアル改訂の際にしっかり検討すると回答があった。

○第3回心血管疾患医療体制検討特別委員会

日時：平成29年11月30日(木) 19時00分

場所：広島県医師会館3階 303会議室

委員長：木原 康樹

第7次広島県保健医療計画(心血管疾患医療体制)と心血管疾患に係る医療機能調査について協議した。計画(案)について、軽微な修正などは委員長一任とすることとした。

報告・協議事項

(1) 心血管疾患医療体制第7次広島県保健医療計画(案)について

広島県医療介護計画課から、これまでの議論

内容や計画策定の留意点として、二次医療圏ごとの地域計画(案)などの現状を説明後、第7次広島県保健医療計画(案)が示された。軽微な修正などは委員長一任とし、協議内容を踏まえた計画(案)を再度、MLなどで意見照会することとした。

委員からは、「発症予防」の必要性や医療圏によって異なる実情(人口減少、高齢化率)を踏まえた数値の扱い方を求める意見があった。

新たに循環器疾患の緩和ケアに関する項目と、在宅療養が可能な体制づくりとしてイメージ図を追加する提案があり、了承された。

(2) 心血管疾患に係る医療機能調査について

心筋梗塞などの心血管疾患対策に求められる医療機能を調査するため、機能確認シート(案)について協議した。広島県医療介護計画課から示された調査項目は、国の指針に基づき作成され、広島県独自の項目として「病床数、医師数、心筋梗塞・心不全手帳の利用状況、ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)の加入状況」などが追加されていた。

委員からは、予防期、急性期、回復期、再発予防などいずれの機能区分においても連携している医療機関の記載を求めていることの必要性を問う意見があった。調査対象は、広島県内の全病院と循環器科、内科などを標榜する診療所とし、調査結果については、広島県ホームページを通じて県民への公表が予定されている。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.4」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- C型肝炎「わたしの手帳」 など

【パンフレット・マニュアル】

- 広島県のつづが虫病と日本紅斑熱について
- 予防接種の普及を目指して
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- ACPの手引 「豊かな人生と共に…」
- 海外で気をつける蚊媒感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱、マリア

【事務局】広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索

